



Eジャーナルしずおか

平成24年(2012年)
4月5日
木曜日
第90号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoul-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

安倍徹教育長再任



任期は平成24年4月1日から4年間です。よろしく申し上げます。

(3) 自他の人権を大切にす
る態度や行動力を育む
人権教育を推進すると

・モンゴル国ドルノゴビ
県高校生との相互交流
の推進

・「大地に学ぶ」農業体
験の推進

・「ふじのくに」に
あふれる文化財を保護・活
用し、文化財に対する
県民の関心を高めると
ともに、その価値の未
来の継承に努めます。

・「ふじのくに」に
あふれる文化財を保護・活
用し、文化財に対する
県民の関心を高めると
ともに、その価値の未
来の継承に努めます。

(1) 防災教育・安全教育の
充実を図るとともに、
安全・安心な教育環境
づくりを推進します。

・緊急地震速報受信シ
ステムのモデル整備
の推進

・「ふじのくに」に
あふれる文化財を保護・活
用し、文化財に対する
県民の関心を高めると
ともに、その価値の未
来の継承に努めます。

・「ふじのくに」に
あふれる文化財を保護・活
用し、文化財に対する
県民の関心を高めると
ともに、その価値の未
来の継承に努めます。

・「ふじのくに」に
あふれる文化財を保護・活
用し、文化財に対する
県民の関心を高めると
ともに、その価値の未
来の継承に努めます。

(2) 学校マネジメントの一
層の向上に努めること
もに、教職員の使命感
や倫理観を涵養し、県
民に信頼される学校づ
くりを推進します。

・学校情報化の推進
・メンタルヘルス対策
の充実

・「ふじのくに」に
あふれる文化財を保護・活
用し、文化財に対する
県民の関心を高めると
ともに、その価値の未
来の継承に努めます。

・「ふじのくに」に
あふれる文化財を保護・活
用し、文化財に対する
県民の関心を高めると
ともに、その価値の未
来の継承に努めます。

・「ふじのくに」に
あふれる文化財を保護・活
用し、文化財に対する
県民の関心を高めると
ともに、その価値の未
来の継承に努めます。

(4) 発達段階に応じた勤
労観・職業観を育むなど
地域やNPO、企業等
と連携してキャリア教
育を推進するとともに
就職支援の充実を図り
ます。

・「ふじのくに」に
あふれる文化財を保護・活
用し、文化財に対する
県民の関心を高めると
ともに、その価値の未
来の継承に努めます。

(5) 学校や地域の実情、ニ
ーズに対応した、特色
ある学校づくりを推進
します。

・「ふじのくに」に
あふれる文化財を保護・活
用し、文化財に対する
県民の関心を高めると
ともに、その価値の未
来の継承に努めます。

保存版 これさえあれば大丈夫 ともに進もう、平成24年度 基本方針&予算のポイント

静岡県教委は、個人として自立し、人との関わり合いを大切にしながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を基本目標とした、静岡県教育振興基本計画(「有徳の人づくり」アクションプラン)に基づき、家庭・学校・地域が連携した社会総がかりによる人づくりに重点を置いて、施策を展開しています。

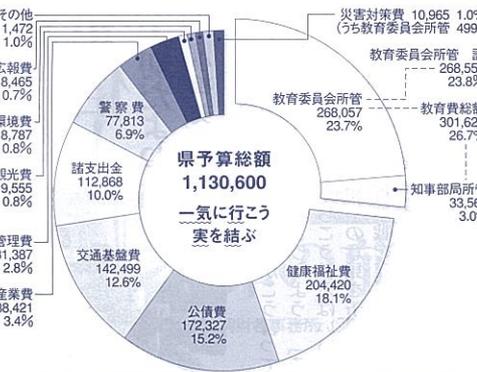
本年度は、喫緊の課題として危機管理体制の整備・充実が求められていることに留意し、次の方針により施策を実施します。

「有徳の人」の育成に
向け、喫緊の課題や教育
への今日的な要請に対応
した、実効性の高い教育
行政を推進します。

方針2

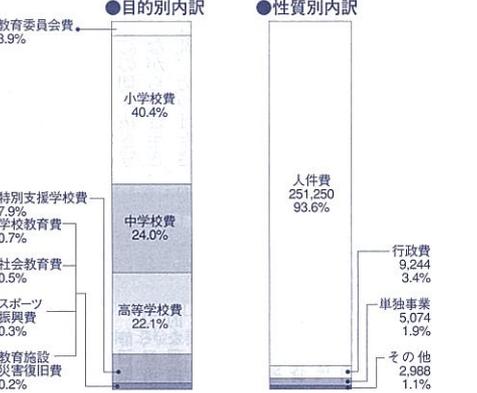
家庭や地域等との連携
により、「有徳の人」を
育む学校教育の充実を推
進します。

県予算と教育予算の内訳 (平成24年度当初予算)



※表示単位未満の端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合があります。

教育委員会予算の内訳 (平成24年度当初予算)

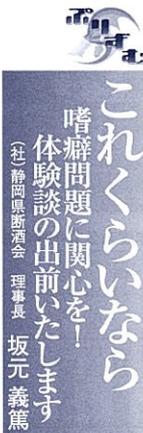


主な事業費

事業費名	金額	方針
学校地震対策総合推進事業費	302,800	1
県立学校等施設整備事業費	3,636,000	1・2
人権教育総合推進事業費	2,207	1
静岡県学校情報化推進事業費	159,500	1・2
特別支援学校教育充実事業費	61,600	1
特別支援学校指導運営費	864,853	1
青少年の国際交流推進事業費	10,300	1・2・3
「確かな学力」育成推進事業費	161,134	2
「大地に学ぶ」農業体験推進事業費	8,840	2
学校食育推進事業費	2,700	2
しずおか型部活動推進事業費	19,900	2
心の教育推進事業費	10,580	2
スクールカウンセラー活用事業費	228,120	2
スクールソーシャルワーカー活用事業費	13,700	2
オーバードクター等活用事業費	121,600	2
次代を担う人材育成研修事業費	13,400	2
静岡県キャリア教育推進事業費	6,600	2
高校生就職総合支援事業費	39,600	2
静岡式35人学級編制(小学校低学年支援充実事業費を含む)	122,600	2
子ども・若者支援推進事業費	7,510	3
学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業費	39,439	3
「読書県しずおか」づくり総合推進事業費	11,000	2・3
学びの「宝箱」活用推進事業費	2,391	3
地域における通学合宿推進事業費	11,540	3
文化財保護対策費	11,100	3
文化財調査受託事業費	591,659	3
生涯スポーツ振興事業費	15,136	3
ジュニアスポーツ育成事業費	15,000	2・3
競技力向上対策事業費	201,000	3



全国規模での啓発活動 第48回全国静岡大会 3118名参加



(社)静岡県断酒会 理事長 坂元義篤

多様化した現代社会において「ストレス」を抱

背景を見る

嗜癖(嗜飲)は、物質に依存するものとして「薬物依存(アルコール・違法薬物含む)」「タバコ」「有機溶剤」等があり、行為に依存するものとして「自傷行為」「暴力」「虐待」「摂食障害」等が代表的なものです。共にコントロール障害を起しており、意志や知識だけではやめられないのが現状です。

立ち上がった

(社)静岡県断酒会は昭和39年にアルコール依存症者の自助グループとして発会し、現在550名

今、行動を起そう

飲酒や違法薬物問題は禁止するだけでは解決し

ません。様々な嗜癖問題の果てにどんな結果が待っているのか。「実体験」とし

て伝えることがより効果を生みます。

私たちが出来ることは実体験を語り、警鐘を発する事です。現在まで県中部の中学校で、何回か出前で体験を語らせて

いただいています。未来と可能性を守りたい。まだ、間に合う。これから活動を広めていきます。嗜癖問題への取り組みを、教育現場へは是非ともお願いいたします。先送りした課題と無関心は大きくなって返ってきます。

御連絡をお待ちします。

連絡先

(社)静岡県断酒会

054(29)61143

054(29)61144

*実費でお伺いします



押忍!交流職員「遠くからの視点を養う」

予算の前に

静岡県静岡財務事務所 大村 床子

平成22年4月から県税を扱う静岡財務事務所勤務し早いもので2年が経ちました。私が所属する納税第1課2班は、県税の滞納額が長期累積し高額となった案件の整理を担当しています。

このような案件は、電話や催告文書では徴収できないことが多く、直接現地へ行き相手方と納税交渉を行い、納付に至らない場合は財産の差押えをして取立てを行います。映画で言えばマルサの女に似た世界、私自身このような仕事に巡り合うとは夢にも思いませんでした。

しかし、こうして他人の財産を差し押さえたり、詳細な個人情報まで調査したりできるのは、徴税吏員として権限を与えられているからこそ。それゆえ、資格を持つ者として、それ相応の力を身に付ける努力と、誤った権限行使をしないよう、常に慎重に行動することの大切さを痛感しています。する側から見れば数ある差押え案件の一つであっても、される側にとっては貴重な財産には変わりありません。

始めは楽しくし定規で物事を考えてしまい、このくらいの金額がなぜ払えないのか、そう感じることもありましたが、千円でも納付が厳しい状況が世の中にはあるという事実は確かです。お金を稼ぐことの苦労は新規採用時に学びましたが、現在は県民から徴収する難しさを経験しています。

払えるのに払わない人には厳しい対応も必要ですが、諸事情で払えない人には納税相談を行い、税額を圧縮し完納するように、一、二年先のことを見据え、今後の方針を共に考えます。私は差押える財産には一つ一つ意味があり、納税者に常に近い存在で業務を行う職員でありたいと思っています。

納税の意義をより理解してもらうための広報活動も、財務事務所の重要な業務の一つです。

5月の自動車税の納期内納付を周知するための街頭キャンペーンに立ち、国と連携し子どもたちに税金の大切さを伝えるため、小学校で租税教室の授業を行いました。募金はためらわなくても、税金を嬉々として納める人はなかなかいません。たった一人の公務員のちょっとした不注意が信頼を損ね、社会全体の納税意欲を失わせます。Eジャーナル1枚、勤務時間1分1秒、有効に使う義務があります。

この仕事は、頑張れば頑張るほど県民からは感謝されないかもしれませんが、県の収入の約40%を税金が占め、様々な施策の財源となっている、その根拠を支えていることに誇りを持って仕事をしています。

出向により、多くの方々と仕事を通じ知り合いになり、新たな横のつながりができました。そして、徴収業務を通じ世間知らずの自分が世の中の表裏を見ることで世界が広がったと思うのです。

もうすぐ5月、自動車税納付をお忘れなく!

～あなたの税で築く静岡県の未来～

静岡県駿河区有明町2番20号 静岡県静岡財務事務所 054(286)9144



他流試合を恐れない

今だからこそベテラの技を

初任者へのアドバイス

▲教諭は「伝え合う力の育成」を目標として教員1年目をスタートしました。子どもたちに自信を持たせたいと、授業の中で、自分の考えをノートに書くことや、それを基にして話し合う展開を心掛けてきました。子どもたちは幾分活発な話し合いができるようになったものの、まだまだ目指している姿には行き着いていないと感じていました。それは、ノートに自分の考えが書けても、挙手に至らない子が複数いたからです。そんな時、校内の先輩教員の師範授業を参観する機会がありました。机間指導時に「この考え、分かりやすいね」「みんなに説明してほしいな」など個別に助言する姿を目の当たりにしました。▲教諭は、早速個々の子どもの考えを認め励ます助言を指導に取り入れ、学習指導を深めていきました。

この事例から、先輩教員が培った知識・技能を学ぶことの大切さがよく分かります。しかも、教職の経験が豊かな教職員からは、奥の深い多くのことを学ぶことができます。

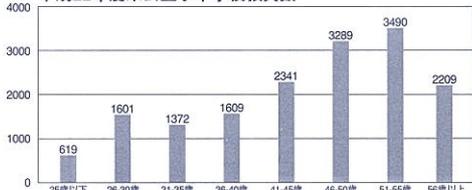
今だからこそ

ベテランの技を



ベテランの話を真剣に聴く若手

平成22年度末公立小中学校教員数



右図の教員の年齢構成を見てみると、40歳代後半以上の割合が高く、今後10数年の間に、多くの教員が定年退職する時期を迎えます。このような時期からこそ、学校の教育力維持、向上のために、次世代を担う教職員が、経験豊かな教職員の持つ知識や技能を受け継いでいくことが重要です。そこで、これらを支援するために、県教育委員会で、「熟練の技」伝授研修(学校組織の明日へ架ける橋)を企画しました。

本研修は、51歳以上で受講を希望する教員を対象とします。7月と1月の2期に分けて行うと全体の研修では、「経験豊かな教職員に求められるもの」などをテーマとして、大卒教諭等による講話とグループワークを行います。そして、I期とII期の間に、若手教職員に、研究授業や実践発表などを通して知識や技能を伝える実践等を予定しています。また、事務職員においては、主査・事務主査経験8年以上で、受講を希望する者を対象に実施します。

24年度 県教育委員会の事務局組織が一部変わりました

教育総務課	(なし)	(新設)危機管理担当
学校教育課	総務企画班	(変更なし)
	高校班	高校教育室
	小中学校班	小中学校教育室
	健康・安全班	(変更なし)
	特別支援教育推進室	特別支援教育室
	高校再編整備室	(変更なし)
学校人事課	免許・評価班	小中学校班
	県立学校班	高校班
	小中学校班	特別支援学校班

24年4月1日から看護休暇の対象が広がりました!

お子さん、配偶者、父母等がけがや病気で、教職員の皆さんによる看護を必要とする場合、1年に5日(1日又は1時間単位)以内の看護休暇の取得が可能です。なお、中学校就学前の子が2人以上いる場合には10日以内で取得が可能です。看護休暇は、中学校就学前の子が、子育て休暇の対象とならない予防接種、健康診査を受ける時に、その子の世話をする必要がある場合にも取得できます。(これまでは、小学校就学前のお子さんが対象でした。ちなみに、小学校就学前は満6歳になって初めて迎える3月31日まで、中学校就学前は満12歳になって初めて迎える3月31日までのことです。)このほか制度の詳細は各学校の事務室などへお尋ねください。期待されている職場での休業や家庭や社会での役割、皆さんざりざりでがんばっています。一人でも抱えませんが、最善となるようなバランスをみんな考えていきたいと思います。【教育総務課法規担当 054(221)3112】

【支援者限定】平成24年度自閉症支援講座の御案内

静岡県発達障害者支援センターでは、自閉症スペクトラムの方への直接支援に役立つ講座を開催します。意欲に溢れ、今後も最前線で支援に関わっていきたく考えている方の応募をお待ちしています。

内 容	A(平日)コース	B(土曜日)コース
	三島市民文化会館(〒411 静岡県男女共同参画センター6号棟)	6月19日(火)
第1回 自閉症の特性理解/ペアレントワーク	7月13日	7月14日
第2回 評価(アセスメント)/構造化	9月7日	9月8日
第3回 コミュニケーション/問題行動への対応	10月12日	10月13日
第4回 高機能自閉症/アスペルガー症候群/実践報告		

申 詳細はホームページ(HP)から。(4月16日掲載予定)
 ■受講要件 直接自閉症の人の支援をしていて、4回すべての講座に出席できる方。
 ■申込み HP、郵送(所長長の推薦不要)
 ■受付期間 平成24年4月16日(月)~5月10日(木)
 ■定 員 A、Bコースとも各40名程度。選考の上決定。
 ■受講料 無料
 ■その他 第1回公開講座のみを希望する場合は別途申込みが必要。(詳細HPから)
 問 静岡県発達障害者支援センター(静岡県こども家庭相談センター総合支援部) 千422-8031 静岡市駿河区有明町2-20 静岡総合庁舎3階 054(286)9038
 “静岡県発達障害者支援センター研修”で検索を。
 ホームページ <http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-810/sogo/index.html>

EDITOR
 本誌の編集者として活躍している方々へのインタビュー記事です。本誌の編集者としての経験や、本誌の運営について、また、本誌の読者としての感想や、本誌の今後の発展について、お話を伺っています。本誌の編集者としての経験や、本誌の運営について、また、本誌の読者としての感想や、本誌の今後の発展について、お話を伺っています。

研修で招く講師の新聞記事があれば見たい
 こちらは県庁のある部署からの相談です。長期間に及ぶ膨大な記事を確認しきれないが、途方に暮れていたそうです。そこで、新聞記事を検索できるデータベースを紹介しました。

「大陸は動く」が載っている本はないか?
 小学校の先生からの相談です。少し前の教科書に載っていた短い読み物で、また授業で使いたいとのこと。そこで、本が出版されていないか調べたところ、発行元の光村図書出版が教科書の読み物をまとめた「光村ライブラリー」を発行していました。早速中身を検索すると、その第16巻に「大陸は動く」を発見することができました。無事に本を発見できたので、自分の探している本が見つからない、といったことはあきらめず、図書館では、そんな人のために、本を探そう手伝いをしています。(レファレンスサービス) 思う覚悟のことも、それをヒントに探してみますし、図書館にない場合でも、他の図書館で持っているのか調べ、御希望があれば取り寄せもします。

GRANSHIP 演劇部、美術部の顧問の先生必見!
 こどもたちが将来に明るい希望をもち、わくわくした気持ちになる素敵な物語

5/4(金・祝)・5(土・祝)・6(日)
 13:00~ ※5/5のみ13:00~と16:00の2公演 GRANSHIP 静岡芸術劇場

鈴木忠志演出 「シンデレラシンデレラ」
 出演:劇団SCOT/劇団静火(SPAC県民劇団)

世界的に活躍している演出家鈴木忠志が、初めて親子のために創る注目の作品。主人公の女の子が劇場で「シンデレラ」のお芝居を創るところからお話は始まります。21世紀を生きる子どもたちにとって、王子様と結婚することが本当の幸せなのでしょうか。子どもたちが将来に明るい夢を持ち、「劇場で楽しい!お芝居って面白い!」を身体中で感じ、おとなも子どももアトラクションに乗っているようなわくわくした気持ちになるとても素敵なお芝居です。

全席指定/一般3,500円 大学生以下1,000円 GRANSHIPチケットセンター 054-289-9000